

経営協議会委員からの意見等に対する取組状況

(平成 30 年度)

| 回 | 年月日 | 学外委員からの意見等 | 大学の取組状況 |
|----|---------------------|--|--|
| 69 | 平成 30 年 6 月 15 日 | <p><議題>平成 29 年度決算について</p> <p>高知県の地域医療構想を踏まえつつ、大学病院つまり医療の教育機関として、どうしていくべきか考えていく必要がある。</p> | <p>平成 31 年 4 月 22 日に厚生労働省の担当官を講師として招き、地域医療構想に関する講演会を開催した。対象は、教授会及び附属病院運営委員会の構成員等であったが、高知県の担当職員にも同席いただいた。</p> <p>今後も関係者と意見交換を行いながら、高知大学医学部附属病院を中心に高知県の地域医療構想の検討を進めていく予定である。</p> |
| 70 | 平成 30 年 9 月 13 日 | <p><議題>次世代地域創造センターの設置について</p> <p>意欲的な事業を行うにあたり、大学の限られたリソースの中で難しい面もあるかと思うが、ぜひ（センターの使命を）達成してもらいたい。</p> | <p>本学では、平成 30 年 4 月から、UBC(University Block Coordinator:地域コーディネーター)を任期の定めのない教員として採用し、次世代地域創造センターの専任予定者とした。平成 31 年 4 月からはUIC(University Innovation Coordinator)を新規に雇用することにより、自治体等との地域再生・課題解決及び雇用創出に資する連携事業を展開し、地域の技術開発や専門人材育成機能を強化している。</p> <p>意欲的な事業の 1 例は、平成 30 年 10 月に、内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」事業に高知県、高知工科大学、産業界とともに申請し採択を受けたことである。本事業は、高知県や県内機関との連携関係に基づき、新たに地域における中核的な産業の振興、専門人材育成、並びに地域における若者雇用機会の創出に資することを目的とする。本プロジェクトでは、高知県の基幹産業である農業分野において Society5.0 を実現し、園芸農業生産性日本一を誇る高知県を、世界トップクラスに位置づけることを目指している。</p> |

| 回 | 年月日 | 学外委員からの意見等 | 大学の取組状況 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---------------------|---|---|-----|------------|----|--|----|--|-------------------|------------|--------|-----|-------|-------|-----|----------------|--|-----|--|
| 70 | 平成 30 年 9 月 13 日 | <p><議題>その他</p> <p>今後データ社会となり、A I 人材の育成が重要となるにあたり、大学がどのようにリベラルアーツを考えていくかが重要である。</p> | <p>Society5.0 の実現に向けて AI 人材や数理データ人材の育成が急務とされている。特に教育面では文系・理系を問わず、論理的思考力と規範的判断力を磨き、課題発見・解決や社会システム構想・設計等能力を身につけるための基盤となるリベラルアーツ教育が重要とされている。</p> <p>その実現のために、本学では、全学的な「地域協働による教育」を展開する中で、社会との接続を重視し、「学生が卒業までに身につけてほしい 10+1 の能力」(下表参照)を定めている。このことによって AI 人材のみならず様々なフィールドで幅広い視野に立ち活躍できる人材育成を行っている。</p> <p style="text-align: center;">高知大学における卒業までに身につけてほしい10+1の能力</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center;">対課題</td> <td style="width: 55%;">専門分野に関する知識</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center;">対人</td> <td style="width: 20%;">表現力</td> <td rowspan="4" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">+1</td> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">「統合・働きかけ」 左記の「10の能力」を統合し、周囲の人や社会に働きかける力</td> </tr> <tr> <td>人類の文化・社会・自然に関する知識</td> <td>コミュニケーション力</td> </tr> <tr> <td>論理的思考力</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">対自己</td> <td>協働実践力</td> </tr> <tr> <td>課題探求力</td> <td>自律力</td> </tr> <tr> <td>語学・情報に関するリテラシー</td> <td></td> <td>倫理観</td> <td></td> </tr> </table> | 対課題 | 専門分野に関する知識 | 対人 | 表現力 | +1 | 「統合・働きかけ」 左記の「10の能力」を統合し、周囲の人や社会に働きかける力 | 人類の文化・社会・自然に関する知識 | コミュニケーション力 | 論理的思考力 | 対自己 | 協働実践力 | 課題探求力 | 自律力 | 語学・情報に関するリテラシー | | 倫理観 | |
| 対課題 | 専門分野に関する知識 | 対人 | 表現力 | | +1 | | 「統合・働きかけ」 左記の「10の能力」を統合し、周囲の人や社会に働きかける力 | | | | | | | | | | | | | |
| | 人類の文化・社会・自然に関する知識 | | コミュニケーション力 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 論理的思考力 | 対自己 | 協働実践力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課題探求力 | | 自律力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 語学・情報に関するリテラシー | | 倫理観 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 72 | 平成 31 年 3 月 19 日 | <p><議題>2019 年度年度計画（原案）について</p> <p>国土全体を見渡した連携を考える視点が大事であり、大学が世間からどのように認知されるべきかを考え、大学としての明確なビジョンを描いてもらいたい。</p> | <p>四国内の国立大学間では、全体として、また、各大学にとって有益となる視点から連携すべき事業についての検討を行っている。同様に、高知県内の高等教育機関との間でも、中央教育審議会の答申（2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン）を踏まえて、高知県及び県下の高等教育機関の学生にとって有益となるような連携事業の検討を行っている。</p> <p>学内においては、学長が掲げるSRU (Super Regional University: 地域を支える大学) の実現に向けて、学長のリーダーシップのもと、SRUミーティング (学長・理事・学部長・学系長・センター長等との意見交換) を実施している。特に本学の強み・特色や経営状況並びに国立大学等を取り巻く状況に係る情報を常時共有しつつ、今後の大学改革や第4期中期目標期間を見据えた全学的・戦略的なビジョンの検討を行っている。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |